

問28 災害や緊急時の現在できている備え

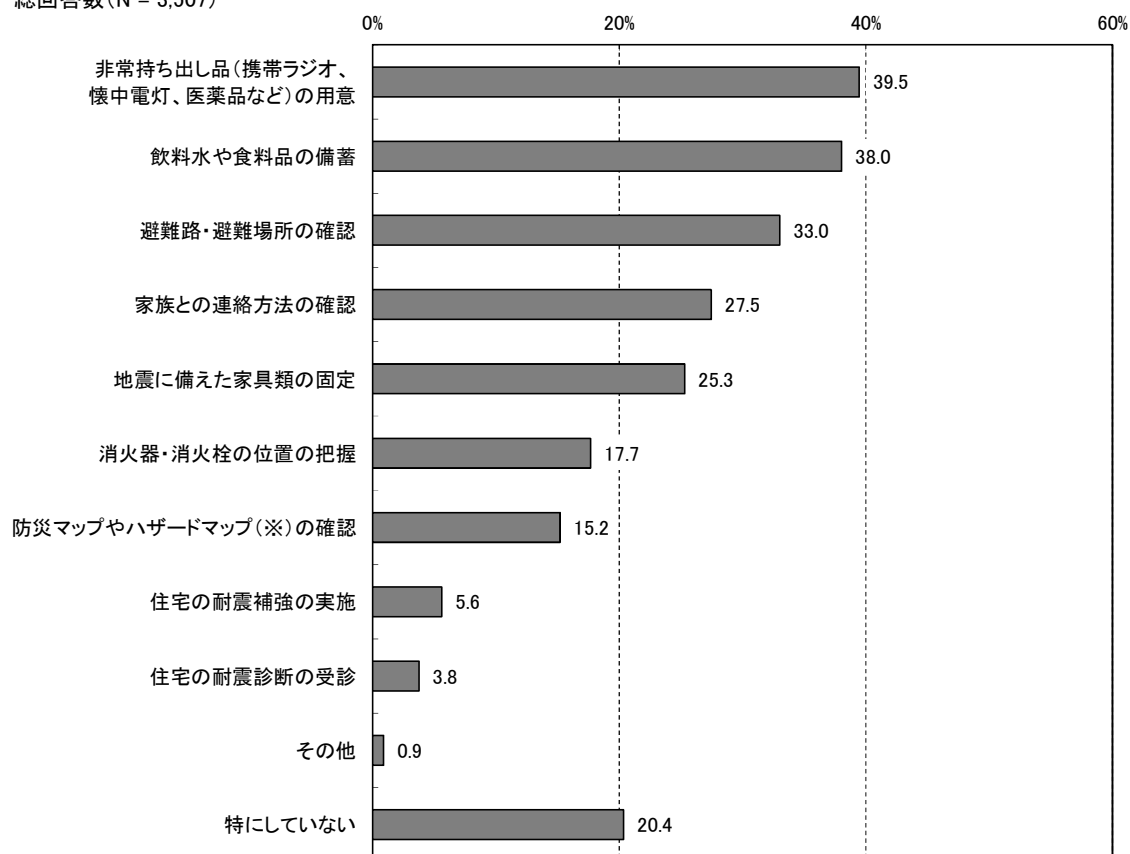
問28 あなたは、地震や台風などの災害や緊急時に備え、現在どのようなことをしていますか。(いくつでも)

全体(図28-1)でみると、「非常持ち出し品(携帯ラジオ、懐中電灯、医薬品など)の用意」が39.5%と最も高く、次いで「飲料水や食料品の備蓄」(38.0%)、「避難路・避難場所の確認」(33.0%)の順となっている。

図28-1 災害や緊急時の現在できている備え

回答者数(n = 1,533)

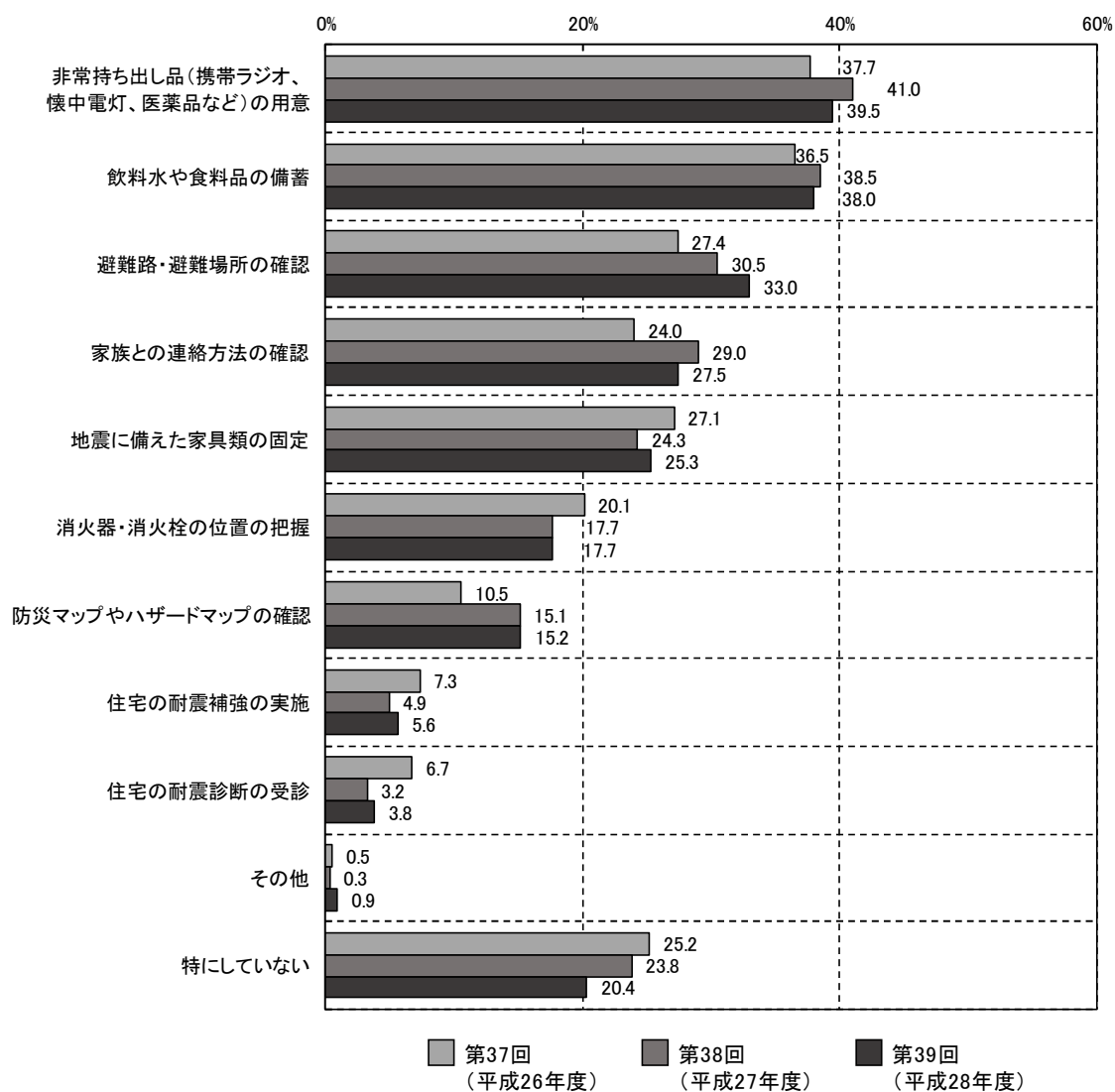
総回答数(N = 3,507)



※ ハザードマップ: 自然災害による被害の軽減や防災対策に使用する目的で、被災想定区域や避難場所・避難経路などの防災関係施設の位置などを表示した地図

前々回・前回比較（図 28-2）でみると、前々回、前回と同様に「非常持ち出し品（携帯ラジオ、懐中電灯、医薬品など）の用意」が最も高くなっているが、前回と比べて 1.5 ポイント減少している。「避難路・避難場所の確認」では前回と比べて 2.5 ポイント増加している。

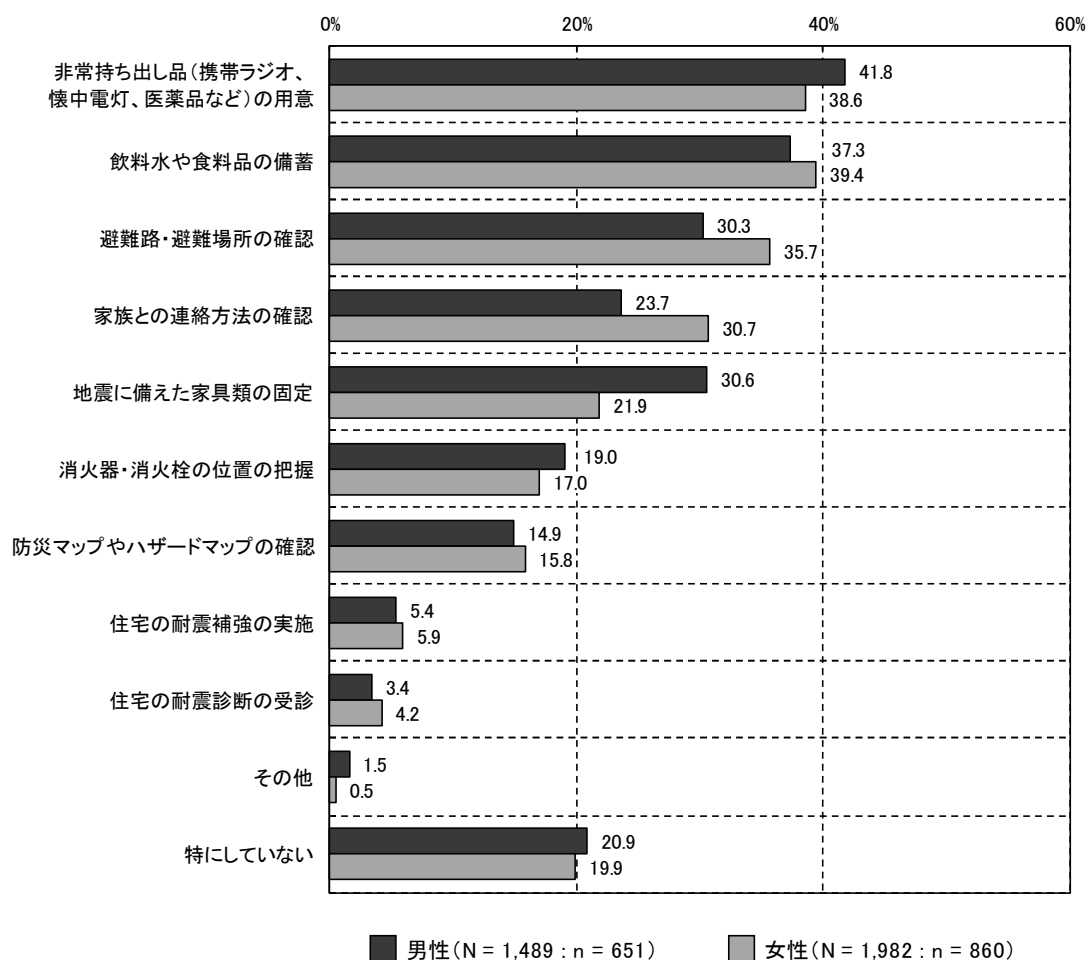
図 28-2 【前々回・前回比較】 災害や緊急時の現在できている備え



- ※ 選択肢、「地震に備えた家具類の固定」は、第 37 回調査では「家具類の固定」
- ※ 選択肢、「住宅の耐震診断の受診」は、第 37 回調査では「住宅の耐震チェック」
- ※ 選択肢、「住宅の耐震補強の実施」は、第 37 回調査では「住宅の耐震強化」

性別（図 28-3）でみると、男女ともに「非常持ち出し品（携帯ラジオ、懐中電灯、医薬品など）の用意」が最も高く、男性が 41.8%、女性が 38.6%となっている。差が大きいのは「家族との連絡方法の確認」で女性が男性より 7.0 ポイント、「地震に備えた家具類の固定」で男性が女性より 8.7 ポイント、それぞれ高くなっている。

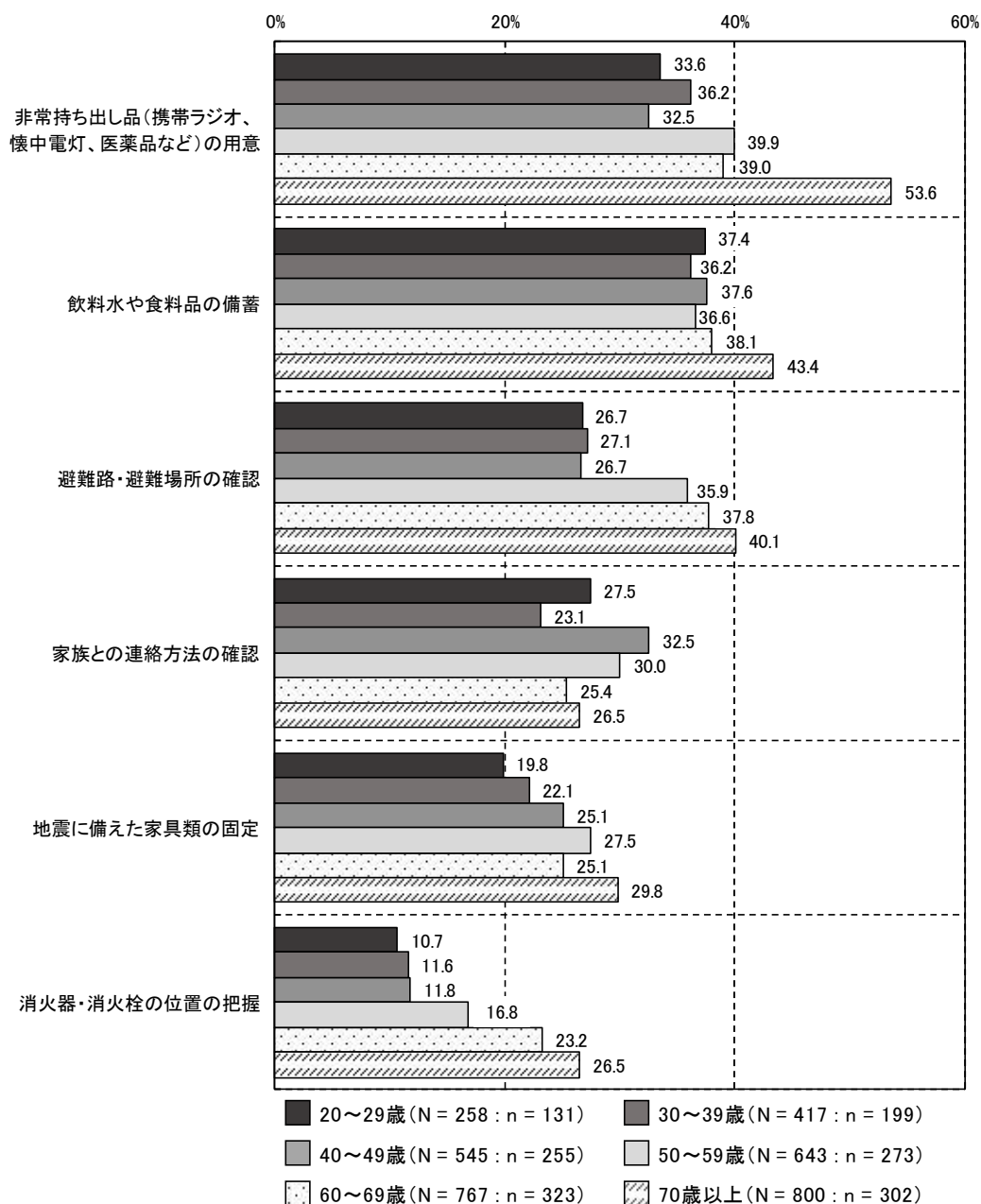
図 28-3 【性別】 災害や緊急時の現在できている備え



※ N=総回答数 n=回答者数

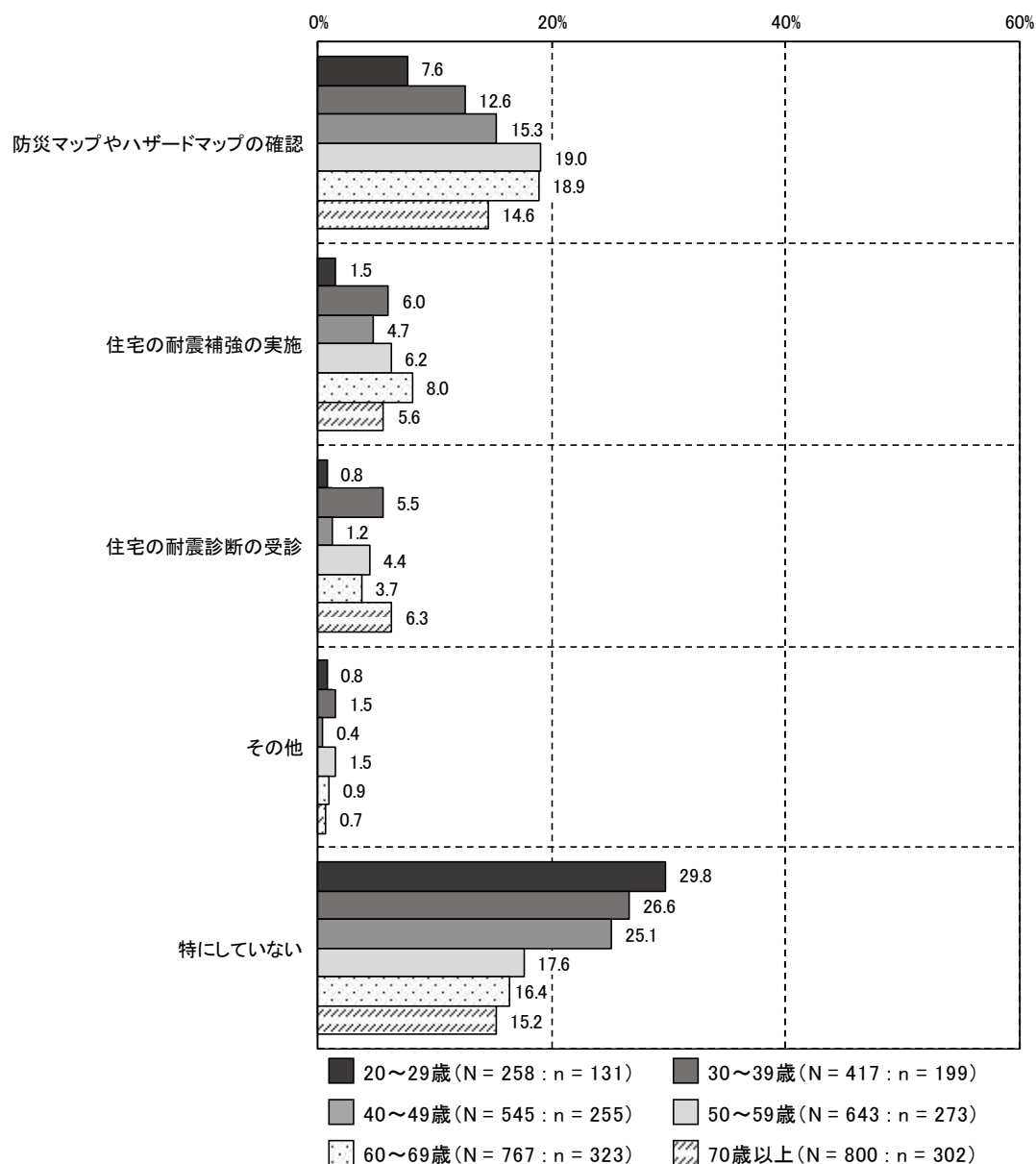
年代別（図 28-4）でみると、30 歳代、50 歳代、60 歳代、70 歳以上では「非常持ち出し品（携帯ラジオ、懐中電灯、医薬品など）の用意」が最も高く、そのうち 70 歳以上が 53.6%と最も高くなっている。20 歳代、40 歳代では「飲料水や食料品の備蓄」がそれぞれ 37.4%、37.6%と最も高くなっている。30 歳代では「飲料水や食料品の備蓄」と「非常持ち出し品（携帯ラジオ、懐中電灯、医薬品など）の用意」が 36.2%と最も高くなっている。

図 28-4 【年代別】 災害や緊急時の現在できている備え



※ N＝総回答数 n＝回答者数

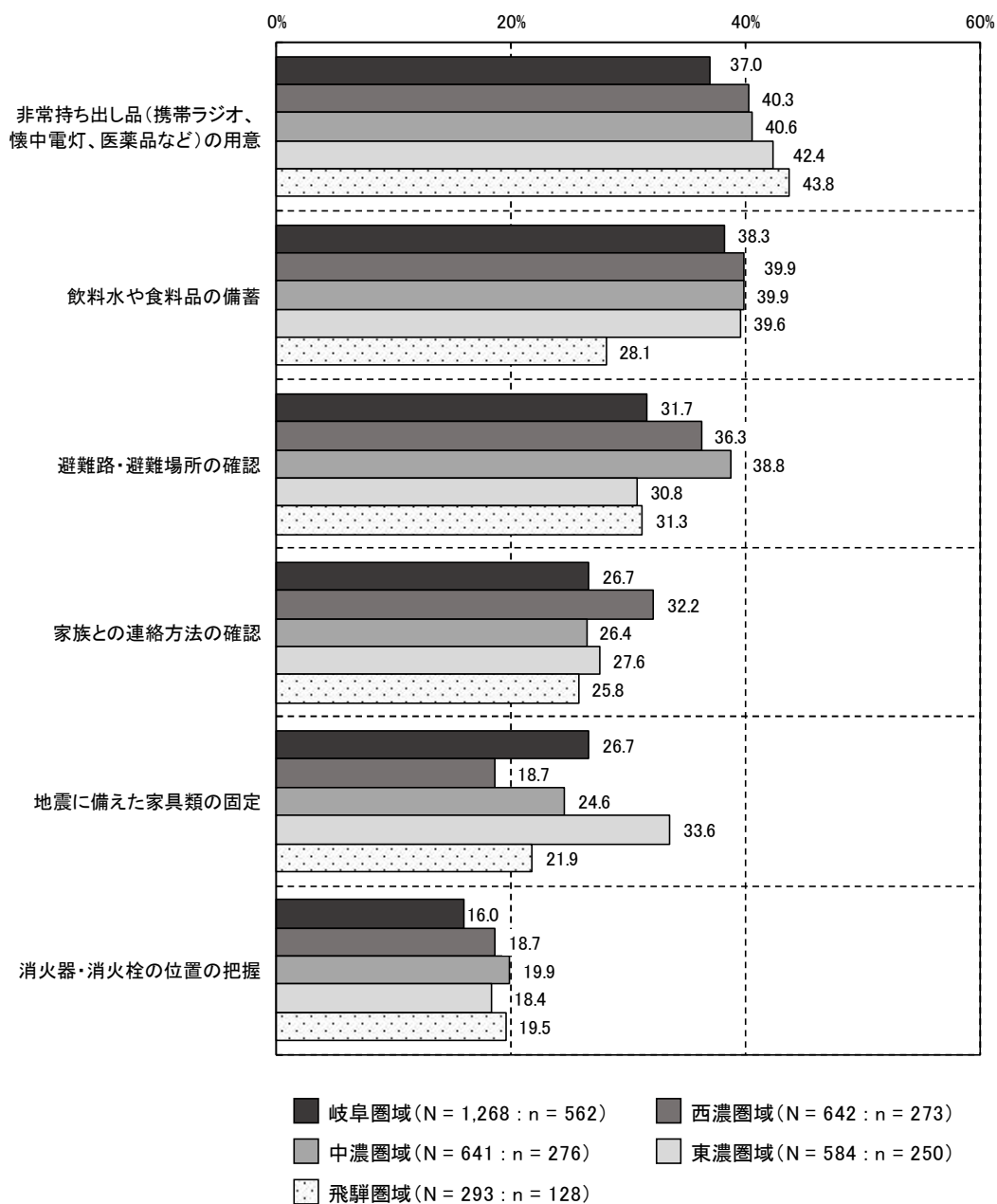
図 28-4 【年代別】 災害や緊急時の現在できている備え（続き）



※ N=総回答数 n=回答者数

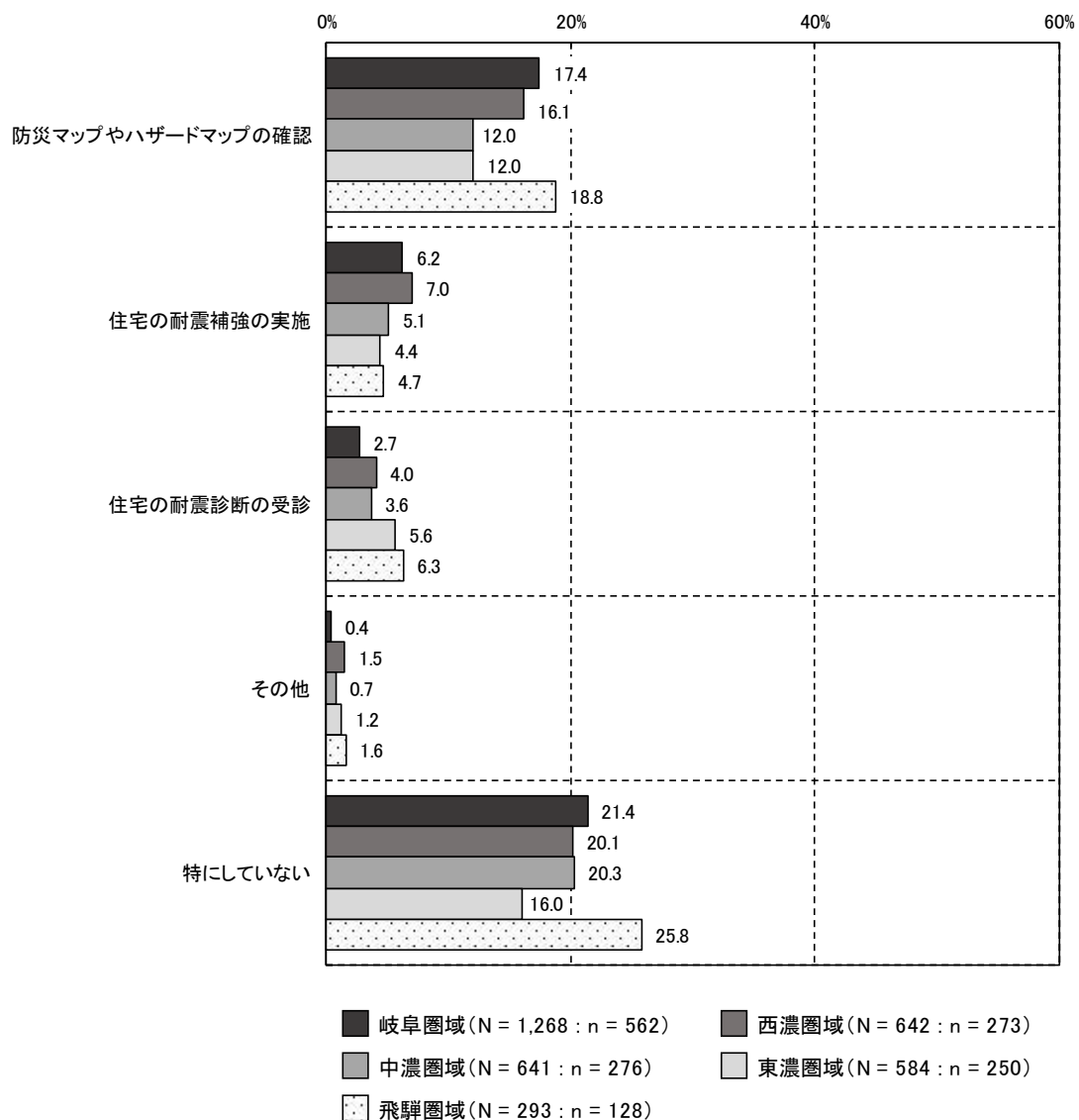
居住圏域別（図 28-5）でみると、岐阜圏域を除く、いずれの圏域においても「非常持ち出し品（携帯ラジオ、懐中電灯、医薬品など）の用意」が最も高く、そのうち飛騨圏域が43.8%と最も高くなっている。岐阜圏域では「飲料水や食料品の備蓄」が38.3%と最も高くなっている。

図 28-5 【居住圏域別】 災害や緊急時の現在できている備え



※ N＝総回答数 n＝回答者数

図 28-5 【居住圏域別】 災害や緊急時の現在できている備え（続き）



※ N=総回答数 n=回答者数